

3) 馬場豆札, 小堀牧人工草地

4) 熊本県阿蘇郡小国町黒淵

5) 久住高原 (大分県直入郡) 開拓地大規模機械化
実験農場

6) 大分県久住種畜場 (沢水人工草地)

7) 大分県直入郡久住町六反原, 老野人工草地

B) 調査方法各病害の発生程度を甚(卍), 多(卍), 中(卍), 少(十)の4段階に分けて表わした。

表 2. マ メ 科

作物名	調査地点 病 名	九 農 試 場		阿蘇分場 及及び第1地 試 験 地		馬場豆札		小 堀 牧		小 国 町 淵		大規模機 械に実 験農場		沢水牧場		老 野		六 反 原				
アルファルファ	そば か す	病 病 病 病	卍 卍 +	卍 卍 +																		
	葉 斑 い 茶																				腐 点 茎 枯	点 点 点 点
赤クローバー	炭 い 汚 煤 輪	病 病 病 病	卍 卍	卍 卍					+													
	輪 い 汚 煤 輪																					筋 斑 点 紋
ラジノ クローバー	汚 葉 腐 菌	病 病 病 病	卍 卍 卍	卍 卍 卍					卍 卍 卍													
	細 葉 腐 菌																					腐 性 点 病
パ ー ツ フ ツ ト レ フ オ イ ル 白 ク ロ ー バ ー	そば か す	病 病 病 病	卍 卍 卍	卍 卍 卍																		

III. 要 約

各調査地点における飼料作物の病害発生状況は、表1 (イネ科), 表2 (マメ科) に示す通りで、主要病害を列記すると下記のようなものである。

1. イネ科

1) 麦角病 主な罹病草種は、ダリスグテス, リードカナリーグラス, イタリアンライグラス等で、このような多くの草種に麦角病が多く発生していることは、今後家畜衛生の点からも、採種の面からも警戒しなければならない問題である。

2) 雲形病 オーチャードグラスの最も重要な病気の1種である。また本病は九農試(熊本)の如き平坦地では5~6月頃に発生が多いにもかかわらず、阿蘇, 久住の高冷地では7月頃発生が甚しいのは、冷涼多湿であるという気象, その他の環境条件の差異によるものではないかと思ふ。今回の調査では、とくに機械化実験農場の草地は本病による被害が大きく、3~4割の収量減と思考した。

3) 病痘病及び葉葉枯病等がオーチャードグラスで

の主な発生を見た。

4) 次にイタリアン・ライグラスの斑点病等があげられる。

2. マメ科

1) Yellow patch Virus は平坦地及び高冷地ともに発生が多く、今後更に研究を要する病気であると考えた。

2) 平坦地(熊本)では、ラジノ・クローバーの葉腐病が激甚であつて、夏枯れ現象をひき起す主因であると思われる。

3) アルファルファの斑点病, いぼ斑点病, ラジノ・クローバーの汚斑病等があげられる。とくに蹄傷等によつて誘発されると推測されているラジノ・クローバーの細菌性病が平坦地(熊本)及び阿蘇・久住の高冷地で広く発生分布を認めた。このように飼料作物には各種の病気が認められるが、それは地域によつて病気の発生時期が若干異なるように考えられる。このことについては更に各地点とも年間を通じての発生経過等を調査し、その回避策を講ずるのが至当であらう。